

著作権・免責事項について

【推奨環境】

この電子書籍上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】 このテキストは著作権法で保護されており、著作権は作成者に属します。つきましては、下記の点にご注意戴きご利用下さい。

●著作権者の許可なく、この電子書籍の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。これにはインターネット上で公開すること、知人に送ることを含みます。もし複製、転載、流用、転売、無断でインターネット上で公開、知人に送付した場合は一律200万円を諸橋直子へ支払うものとします。この電子書籍の開封をもって上記の事項に同意したものとみなします。この電子書籍は著作権者の許可なく全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。上記契約事項に同意できない場合は、諸橋直子にその旨を通知し、当電子書籍の返却と削除を求めます。

●著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。また、法的解決となった際には、その協議を札幌地方裁判所で行うものとします。

【免責事項】

このテキストの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報がありましたも、作成者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。このテキストを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、作成者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。この電子書籍に書かれた情報は、作成時点での作成者の見解等です。作成者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

* このテキストは無料でお配りしている性質上、個別のご質問などへの返信はご容赦いただいております。

* 記載内容のご利用にあたっては、ご利用者様の自己責任のもとご利用ください。（詳しくは【免責事項】をご参照ください）

■犬に使わない方が良い精油

特殊な成分を含む精油で

動物への使用は禁忌とされている精油リスト：

アニス、オレガノ、**ウィンターグリーン**、ウォームシード（アカザ）、カラマス（しょうぶ）、カンファー（クスノキ）、カシア（センナ）、**クローブ**、サッサfras、サンタリナ、ジュニパー（ジュニパーベリーを除く）、セイボリー、タイム（レッド、ホワイト）、タンジー、バーチ、ビターアーモンド、ヒソップ、マグワート、マスタード、ラベンダーストエカス、ルー、ワームウッド、ヤロー。

多くは人間も使用の際に注意が必要な精油。

体の小さい犬へは刺激が強いため、使用しない。

* メディカルアロマセラピーでは専門家の指導のもと、上記リスト内の精油も使用することがある。市販の精油は品質が様々なので、こうした特殊な精油を使用する場合は、専門家の指示のもと、メディカルアロマセラピー専用の精油を使用する。

例：ウィンターグリーン：サリチル酸メチル(98%)

湿布薬の成分。身体の深部の痛みをケアする軟膏に用いられるケースがある。

例：クローブ：オイゲノール。皮膚刺激が非常に強い。

今治水の材料、丁子。アカラス症の際に使用する薬用シャンプーの代わりにクローブを使用したジェルを使用して代用するケースがある。

■犬に禁忌な精油、その理由

1：フェノール類

ひりひりとした皮膚刺激がある成分。強い抗菌作用を持つ。
オレガノ、セイボリー、レッドタイム、ホワイトタイムなど。

2：ケトン類

ヤロー、ルー、ヒソップ、ワームウッド。ワグワート等。刺激作用があり、組織の再生を促す。粘液溶解作用、神経毒性がある。

すべてのケトン類が有害というわけではなく、ローズマリー・ベルベノン（ケモタイプ）、ペパーミント、ユーカリなどの精油に含まれるケトン類は精油の中に含まれる量も少量で、許容性が高い。少量であれば動物にも安心して使うことが出来る。

ただし、少量でも「神経毒性」のある精油は「てんかん」を持病に持つ犬の場合、何らかの影響を与える可能性が指摘されているのでその場合は使用しない。

*てんかんの犬が避けるべき精油：

- ・ペパーミント
- ・スペアミント
- ・セージ
- ・ヒソップ
- ・ヘリクリサム
- ・ラベンダー・ストエカス
- ・ローズマリー・カンファー、
- ・ローズマリー・ベルベノン等

*妊娠中のアロマ：

ホルモン様作用、通経作用のある精油などは、妊娠中には使用しない。
また安全だと言われている精油でも、妊娠中は香りに敏感になっているため、嗅ぐだけで気分が悪くなる場合もある。使用時は十分に注意する。

終わりに：

犬に禁忌な精油についての解説をお届けしました。
是非安全にアロマセラピーを楽しむためにご活用ください。

講師：諸橋直子

北海道札幌市出身・在住
インテリア会社、広告代理店勤務を経て
2007年犬のためのアロマセラピー石鹸「ぐり石鹸」スタート。
現在はアロマセラピー、マッサージ、犬の食事、薬膳等の講座を開講。
「ペットのための東洋医学基礎」は東京・大阪・札幌で開講。

Office Guri代表
全日本犬のホームケア普及協会 会長理事

AEAJ認定アロマセラピーインストラクター
ホリスティックケアカウンセラー
ペット食育協会認定食育指導士（上級）
ペットマッサージセラピスト
ペット東洋医学アドバイザー

オフィシャルサイト <http://www.officeguri.com/>
Facebookページ <http://www.facebook.com/officeguri>
Twitter <https://twitter.com/officeguri>
メールマガジン <http://ameblo.jp/officeguri/>
ぐり石鹸ストア <http://store.officeguri.com/>